

第25回 水俣・芦北地域雇用創造協議会総会（議事録）

1 日時 7月29日(水)14:00～15:00

2 場所 津奈木町役場 3階会議室

3 出席者会員（構成団体24団体中23団体出席）

社会福祉法人水俣市社会福祉協議会	会 長	高岡 利治
社会福祉法人芦北町社会福祉協議会	会 長	内山 忠美
社会福祉法人津奈木町社会福祉協議会	会 長	山田 豊隆
一般社団法人水俣市芦北郡医師会	事務長	吉田 順一
水俣商工会議所水俣商工会議所	会 頭	濱田 憲治
芦北町商工会	会 長	林田 耀宏
津奈木町商工会	会 長	野崎 武寿
水俣芦北地域観光推進協議会	会 長	濱田 憲治
一般社団法人みなまた観光物産協会	代表理事	福田 豊樹
芦北町観光協会	会 長	田中 正一
水俣・芦北地域教育旅行および 視察研修受入促進協議会	代 表	森山 亜矢子
あしきた農業協同組合	代表理事組合長	白坂 主税
水俣市漁業協同組合	代表理事組合長	前田 和昭
芦北町漁業協同組合	代表理事組合長	山元 光晴
津奈木漁業協同組合	理 事	佐々木 茂喜
一般社団法人熊本県建設業協会芦北支部	副支部長	平生 勝治
株式会社肥後銀行水俣支店	主 任	石渕 真之
水俣市	市 長	高岡 利治
芦北町	町 長	竹崎 一成
津奈木町	町 長	山田 豊隆
熊本県県南広域本部芦北地域振興局	局 長	江藤 公俊
熊本県地域振興課	首席審議員兼課長	小川 剛史
熊本県労働雇用創生課	主 幹	奥村 治彦
<オブザーバー>		
熊本労働局職業安定部職業対策課	地方雇用開発担当官	脇田 由美子
水俣公共職業安定所	統括職業指導官	藤井 美穂
公益財団法人 熊本県雇用環境整備協会	常務理事兼事務局長	藤本 正浩

4 議事の経過の概要

(1)議決事項

議案第1号 令和2年度(2020年度)事業報告及び決算

議案第2号 令和3年度(2021年度)変更事業実施計画(案)及び補正予算(案)

(2)その他

水俣・芦北地域雇用創造協議会の活動に関する情報発信について

次回、総会開催時期について

5 議事録

【事務局長】

ただ今から、第25回水俣・芦北地域雇用創造協議会総会を開催します。

私は、本日進行を務めます事務局長の浦田です。よろしくお願いします。

まず、本総会の定足数についてですが、本日は、全会員数24名のうち出席者23名、全会員数の過半数の方に御出席いただきましたので、水俣・芦北地域雇用創造協議会規約第11条第1項の規定により、本日の総会は成立しておりますことを御報告申し上げます。

なお、本日の出席者のご紹介については、配付しております出席者名簿で代えさせていただきます。御確認をお願いします。

※資料確認

それでは、開催に先立ちまして水俣・芦北地域雇用創造協議会会長江藤より御挨拶申し上げます

【会長】

皆様こんにちは。本日は、大変お忙しい中に御出席いただき、感謝申し上げます。

また、日頃より当協議会活動に対し、多大な御支援・御協力を賜り、お礼申し上げます。

この4月から第七次の水俣・芦北地域振興計画が始まっております。当協議会の活動は基本施策1(1)に位置付けられています。これからの地域産業の振興・課題・雇用の創出に向けて、1市2町の関係課の皆さまとしっかり連携を図りながら積極的に取り組んでまいります。

引き続き皆様のご協力・御支援をお願いします。

本日の総会では、令和2年度の事業報告及び決算ほか1件の議案についての御審議をお願いいたします。

【事務局長】

それでは議事に入ります。

水俣・芦北地域雇用創造協議会規約第8条第2項により「総会の議長は、会長が務める」こととなっておりますので、ここからの進行は江藤会長をお願いします。

【会長】

それでは、議長を務めさせていただきます。

議事に入る前に、本日の議事録署名人を、津奈木町商工会 野崎会長、みなまた観光物産協会 福田代表理事にお願いしたいと思いますので、よろしくお願いします。

それでは、次第に沿って議事に入ります。

まずは、「次第3議事(1)議決事項」、議案第1号「令和2年度(2020年度)事業報告及び決算」からです。

事務局から説明します。

【事務局】

事務局の納です。どうぞよろしくお願いします。着座にて説明させていただきます。

まず、令和2年度の事業報告からご説明をいたします。前回の3月の総会でもご報告しておりますので、今回は事業の成果を中心に報告したいと思います。まず、資料の2ページをお願いいたします。昨年度は、第六次水俣・芦北地域振興計画の基本理念、環境と経済の好循環を実現し、地域の活躍と、新しい豊かさを目指す地域社会づくりの実現に向けて、地域経済の活性化や雇用機会の創出効果を高める事業を実施いたしました。また、令和2年7月豪雨災害により被災した事業者の当面の収益確保や、地域産業一体となったにぎわい創出など、地域産業全体の再興に向けた取り組みを行いました。具体的な取り組み内容につきましては、8ページからのカラーの資料でご説明したいと思います。8ページをお願いします。

まず、継続事業といたしまして、(1)環境配慮型農業推進、(2)業種間連携・販路開拓支援、(3)水産物ブランド化支援、(4)水俣・芦北観光応援社、(5)地元林産材活用推進、(6)人材育成の6事業を実施いたしました。加えて、令和2年7月豪雨災害に係る県の補助金を活用しまして(7)被災地域産業再興支援事業を実施いたしました。次9ページをお願いします。

アボカドの実証栽培についてでございます。平成24年度から、建設業の農業参入としてスタートしましたアボカドの実証栽培ですけれども、専門家による栽培指導などを継続して実施しております。昨年度は、豪雨災害により、園地が一部被災したことなどから、合計で約190個の出荷、水俣産のアボカドにつきましては初出荷という結果になりました。また、津奈木町におきましては、熱帯果樹振興協議会が設立されまして、津奈木町内の農家に、約100本の苗木を販売するなど、アボカドの産地化、ブランド化への動きが広がってきているところでございます。次のページをお願いします。

狭小農地営農モデルの確立ということで、中山間地域の小さな農地でも、付加価値の高い農産物を栽培し、販売していこうという取り組みでございます。紅芯大根や葉付きかぶなど、飲食店向けのニッチな農産物を栽培するなどいたしまして、取引先も徐々に増えてきているところでございます。次のページをお願いします。

地域産品を活用した新商品開発についてでございます。毎年5件程度の新商品開発を支援しておりますが、昨年度は9件支援いたしました。それぞれ自社の店頭や物産館などで販売されております。引き続き、販売促進等にご協力していきたいと考えております。次のページをお願いします。

展示商談会への出展についてです。昨年度は、関西と福岡で開催された食品関連の専門バイヤー向けの展示会に、2事業者とともに出展いたしました。いずれも数十社の商談の機会を得ることができ、よい情報収集ができた、次の新たな展開に繋がる商談ができたという報告をいただいております。次のページをお願いします。

地域産品のブランディング販路開拓についてです。豊洲市場ドットコムなどの、大手ECサイトによる商品の魅力アップ・テストマーケティングなどを行いました。昨年度は、アボカ

ド、パインみかん他の柑橘類と、新たに和紅茶や海鮮茶漬けを加えた全14商品のテスト販売を行いました、総額約520万円の売上となりました。次のページをお願いします。

レストランとタイアップした地域製品のブランディング・販路開拓についてです。11月に老舗料亭の「なだ万」の全国のレストランと惣菜店で開催されました熊本県フェアにあたって、地域の食材の提案と提供を実施いたしました。また、2月1日から14日まで、JR博多駅のレストラン街「くうてん」において、水俣・芦北フェアを実施いたしました。いずれも、レストラン側から高い評価をいただいた食材もございました。JR博多駅「くうてん」の取組みにつきましては、来年2月から3月にかけて、本格的なフェアをまた開催していきたいと思っております。また、新たな食材の提案と提供に努めたいと思います。次のページをお願いします。

雑誌を活用した地域製品の情報発信です。九州王国という雑誌に、地域製品と生産者を特集記事として掲載し、広く情報発信を行いました。次のページをお願いします。

みなまた和紅茶ブランディングについてでございます。昨年度は、専門家による製造実習や、各商品の特長に合わせた淹れ方の研究、香気分析結果を活用した、みなまた和紅茶四天王の商品の特徴の見える化などを行いました。次のページをお願いします。

水産物ブランド化、主にマガキの養殖・販路拡大についてでございます。平成24年度から各漁協で行うマガキの試験養殖、カキ小屋運営に対して、稚貝購入、貝毒検査、牡蠣小屋の広告宣伝等に協力しております。昨年度は、水害などの影響により生産量は3漁協の合計で、8.3トンということになりました。牡蠣小屋の運営に関しましては、この地域の冬の定番イベントとして、知名度は少しずつ上がってきているものと感じております。次のページをお願いします。

水俣・芦北観光応援社事業についてです。コロナ禍での新たな観光の形となるオンラインツアーを3回実施しまして、延べ65人の参加者がございました。このオンラインツアーでは訪問が困難な樹園地での収穫体験や加工体験を事前に送っておいした食材を使って参加者と一緒に体験するような形で行いました。各回とも参加者からは、また参加したいとか、今度は現地に行ってみたいというふうに、大変好評いただいております。よい情報発信の機会になったのではないかと思います。次のページをお願いします。

次のページはリアルなツアーとしまして、この地域の観光の課題でもある、二次交通の解決に繋がるようなモニターツアーを行いました。新幹線で新八代駅や新水俣駅まで来訪する観光客をターゲットに、地域のバス事業者を活用した新たなバスツアーの旅行商品化に向けてのモニターツアーを、3月に2回実施いたしました。こちらも参加者からは好評いただいております。次のページをお願いします。

地域情報誌を活用した観光情報発信でございます。芦北町が作品舞台のモデルとなっているアニメ放課後ていぼう日誌とのタイアップ企画や、江口寿史さんが描いた水俣市の観光ポスターの作品集などを使いまして、地域の観光情報の発信を行いました。次のページをお願いします。

地元林産材の活用推進についてでございます。地元の製材所、大工さん、建築士さんなどが、会員となっています通称「木魅会」を核としまして、地元林産材の付加価値を高める取組みを行いました。具体的には、芦北町総合コミュニティセンターの木のおもちゃの試作開発や、今後のPRに向けてのカタログ作成の支援でございます。次のページをお願いします。

人材育成事業としまして、高校生の就職支援を実施いたしました。水俣高校、芦北高校、芦北支援学校の就職支援としまして、模擬面接や地元企業の見学会、しごと発見塾を実施いたしました。しごと発見塾につきましては、昨年度は生徒を集めて開催することが困難でしたので、パンフレットの作成、配布となりましたが、例年よりも20社ほど多い56事業所の情報を掲載したパンフレットを作成いたしました。昨年度の水俣高校、芦北高校の生徒さんの地元就職率は3割弱となっております。次のページをお願いします。

ガストロノミーマネジメントの推進についてでございます。立命館大学、龍谷大学と県との食に関する連携協定に基づき、当社地域で学生のフィールドワークなどの取組みを行っているところでございます。昨年度は学生の受け入れができませんでしたが、地元事業者がオンラインでの講義や、関西圏での地域製品の販売会などを行いました。次のページをお願いします。

ここから被災地域産業再興支援事業についてでございます。昨年豪雨災害で被災した事業者の当面の収益確保や、地域一体となったにぎわい創出など、地域産業の再興を、総合的に後押しするような事業を実施いたしました。特に被害の大きかった芦北町の事業者さんへの支援を中心に実施いたしました。

まず生産者・加工業者支援としまして、被災した事業者の新たな商品パッケージ開発が4件です。それぞれ自社の店頭での販売や、サンプル提供を行ってございます。今後の販売促進にあたって引き続き支援していきたいと思っております。次のページをお願いします。

ECサイトを活用した地域製品の販路開拓でございます。あっと！アシキタ復興オンラインショップを開設し、送料代引き手数料を負担することで、地域製品を全国各地に販売することができました。全国から約2,000件のお申し込みがございまして、トータルの売上としては、約700万円ということになりました。各生産者の収入確保に繋がったのではないかと思います。次のページをお願いします。

熊本都市圏での地域製品の販売促進でございます。サクラマチクマモトでの、3ヶ月間の委託販売と、道の駅植木で2日間の対面販売を実施いたしました。大々的なイベントを実施することが困難な中、総額の売上としましては60万円という結果になりました。次のページをお願いします。

物産館・道の駅の支援としまして、熊本都市圏や隣接の八代宇城地域の情報誌に、毎月地域の特産品や、物産館・道の駅の情報を発信いたしました。物産館の方からは、熊本都

市圏などの新規の顧客開拓に繋がったというような評価をいただいております。次のページをお願いします。

物産館を活用した地域製品の送料無料キャンペーンでございます。地域の物産館・道の駅5施設で、11月から12月にかけてと、1月から2月にかけての2回実施いたしました。送料の実績としましては、約1万4,000件、金額にしまして、約1,450万円となりました。売上については、前年の同時期に比べて平均して1割程度増加したというご報告をいただいております。地域製品の消費拡大、生産者の収入確保、物産館・道の駅の収入増に繋がったのではないかと思います。次のページをお願いします。

飲食店に対する支援でございます。この地域の夏の恒例イベントである「芦北伽哩街道」がコロナと、豪雨災害の影響により実施できなかったことから、参加店舗の収入確保のため新商品開発を支援いたしました。6店舗のカレーを冷凍カレーとして商品化されました。現在開催中の芦北伽哩街道2021において、メニューの一つとして提供されてございます。今後の販路拡大に向けて引き続きご協力していきたいと思っております。次のページをお願いします。

「放課後ていぼう日誌」に関連した新メニュー開発についてです。芦北町が物語の舞台となっています放課後ていぼう日誌に登場するメニューや、地域の特産である地魚を使ったメニューを、放課後ていぼう日誌コラボメニューとして19店舗でメニュー開発をしていただきました。今後、これらのメニューを食べたアニメファンなどに、掲載しております写真の真ん中にあるようなノベルティグッズを配布しまして、地域内の飲食店を回ってもらうような取り組みも進めております。次のページをお願いします。

旅館業支援についてでございます。芦北町内の旅館は大きな被害を受け、いまだに再開できない状況が続いております。その中で、宿泊客のコース料理の一つとして提供されていた太刀魚料理をさらなる特産品化できないかということで、「不知火太刀かぐや巻」というブランドで商品化されております。現在、道の駅たのうらなどで販売中です。あわせて通信販売向けの商品の開発中ということでございます。今後の販売促進などに引き続きご協力していく予定でございます。

以上が、昨年度の主な事業報告です。続いて昨年度の決算についてご説明いたします。次のページをお願いします。

まず収入の部でございます。県からの負担金の決算額が5,607万8,000円。国からの補助金の関係で決算見込みに合わせて、予算額からマイナスの260万6,000円となっております。次に市町からの50万円ずつの負担金、計150万円でございます。それと、県からの補助金としまして、被災地域産業再興支援事業費補助金が4,000万円。令和元年度からの繰越金が175万2,690円、諸収入については、預金利息になります。189円ということで、収入決算額は9,933万879円となっております。

次に支出の部でございます。昨年11月の補正予算後、各事業間で予算の流用という形で、少しやりくりをさせていただきました。各事業を執行いたしました。1 環境配慮型農業推

進事業に975万1,196円。2 異業種間連携・販路開拓支援事業に2,080万2,234円。3 水産物ブランド化支援事業に488万3,843円。4 水俣・芦北観光応援社事業に876万9,458円。5 地元林産材活用推進事業に260万2,820円。6 人材育成事業に781万4,216円。7 被災地域産業再興支援事業に4,108万7,051円を支出しました。支出決算額は9,571万818円となっております。収入決算額から支出決算額を差し引いた362万61円を令和3年度へ繰越しとさせていただきますと考えております。

事務局からの説明は以上です。ご審議のほど、よろしくお願いいたします。

【会長】

監査結果につきまして報告をお願いいたします。

監事を代表してあしきた農業協同組合 白坂代表理事組合長をお願いします。

【監事】

令和2年度における会計の状況について、令和3年7月12日芦北地域振興局において事務局員立ち合いのもと、関係帳簿、預金通帳、証拠書類等を監査した結果、執行内容、計数ともに適正であると認められましたので報告します。

【会長】

ありがとうございました。

ただ今の説明及び報告について、御意見・御質問ございましたらお願いします。

よろしいでしょうか。ありがとうございます。議案第1号について、ご了承いただいたということよろしいでしょうか。

(異議なし)

【会長】

続きまして議案第2号 令和3年度(2021年度)変更事業実施計画(案)及び補正予算(案)について、事務局から説明します。

【事務局】

今年度の変更事業実施計画案と、補正予算案についてでございます。資料の36ページをお願いいたします。3月の総会でご承認いただいた当初の事業実施計画から変更する部分に下線を加えております。変更する部分のみご説明させていただきます。

まず1の目的の最後の部分でございます。3月の総会で、被災地域の産業の再興に向けた支援を引き続き実施するようにとのご意見をいただきましたので、昨年度からの繰越金を活用いたしまして、被災した事業者の当面の収益確保やにぎわい創出など、地域産業全体の再興に向けた取組みを行いたいと思っております。

次に、2事業内容の(2)異業種間連携・携販路開拓支援事業関係でございます。37ページの上から4行目のところです。展示商談会・都市圏物産展出展に関しまして、下期に計画しておりました展示商談会への出展を希望される事業者さんがいらっしゃらなかったため、

出展回数の減ということで金額にしまして、188万円の減額でございます。

次に(3)水産物ブランド化支援事業についてでございます。一番下の行に記載しておりますけれども、新たにアジアカエビの試験養殖に取り組みたいと考えております。これは昨年度、飲食店への食材提案を実施した際、飲食店からの評価が高かったものですが、天然物しかないということで、量が確保できないという課題が出てきました。捕れなかったら、養殖してみるのはいかがでしょうかということで、芦北町漁協さんにご相談をいたしまして試験養殖に取り組む計画を立てております。予算額としては150万円を予定しております。次のページお願いします。

一番下の(7)についてでございます。先ほど目的のところでもご説明しましたとおり、昨年度に比べると規模は小さくなりますけれども、被災地域産業再興支援事業に、また取り組みたいと思います。具体的には地域産品を活用した新商品開発の支援や、他団体と連携した復興物産展での販売支援、地域産品の情報発信などに取り組みたいと思います。予算額としては、400万円を予定しております。次のページは、補正予算案でございます。

まず収入の部でございます。第1号議案でご承認いただきました繰越金につきまして、今回補正額として362万円計上しまして、収入の合計としましては5,057万2,000円となります。

次に支出の部でございます。先ほどご説明しましたとおり、2 異業種間連携・販路開拓支援事業でマイナス188万円、3 水産物ブランド化支援事業でプラス150万円、7 被災地域産業再興支援事業でプラス400万円。支出の計は5,057万2,000円となります。

事務局からの説明は以上でございます。ご審議のほど、よろしく申し上げます

【会長】

ただ今の説明について、御意見・御質問はないでしょうか。

【芦北町商工会 林田会長】

大変素晴らしい計画案でございます。一つお尋ねでございます。毎年牡蠣を美味しくいただいております。目的にもあるように「環境と共生」ということであれば、牡蠣の殻について何か活用はないのか。殻の量も考えた方がいいのではないかと考えております。と言いますのも、水を浄化したり、色んな分野で活用が考えられると思います。水俣・芦北・津奈木から大量の殻が出ると思われるので、その利用についてお尋ねします。

【事務局】

現在、芦北町漁協では粉碎して家庭菜園で使える肥料として販売している実績はあります。それ以外の所では産業廃棄物として処分している。有効活用できるようなことも考えてまいります。

【会長】

他にございませんか。

【水俣・芦北地域教育旅行および視察研修受入促進協議会 森山代表】

長年取り組まれているので、面白い事例が増えてきていて、教育旅行や視察研修の題材となり得る内容なので、時間があるときに情報を共有させて欲しいと思います。こちらの協議会で実際にプログラム化できるものもあるのではないかと感じました。

オリパラで「持続可能性委員会」というものがあり、その中で環境に関する取組みが紹介されています。その委員会メンバーのうち、水俣に来たことのある人に参考事例として紹介できそうなので、打ち合わせさせて欲しいと思います。

最後に修学旅行についてです。昨年度は延期から中止となるパターンがほとんどで、体験プログラムのうち食べ物はダメである等の制限が多く、鹿児島県の例を挙げると、教育委員会から県内の周遊に限定するという通知を出すところもあります。熊本県でも、県北の山鹿・菊池の学校が水俣へ来るだとか、視察研修を受け入れますと提案できれば面白いと思っています。

学校自体もオリパラが始まって、感染者が増え、問い合わせは増えているが来られない確率が上がっているという状態になっていますが、この状況をチャンスと捉えて、今準備できることをやっていきたい。水俣・芦北地域の人たちが集まっているので知恵を出し合って一緒に考えていただけたらと思います。

当協議会のメンバーには、旅館や飲食店の人がいて相当な売り上げの落ち込みとなっている。現状を知って欲しい。

【会長】

ありがとうございます。

他に、質問・御意見ありませんでしょうか。

ないようでしたら、議案第2号については、御承認をいただいたということでよろしいでしょうか。

(異議なし)

ありがとうございます。

それでは、次に、「次第3(3)その他」に移ります。事務局から説明をお願いします。

【事務局】

その他の事項としまして2件、ご説明させていただきます。

まず1点目は、お手元にお配りしております、水俣・芦北地域雇用創造協議会の活動に関する情報発信についてでございます。インターネット・SNSを活用して情報発信を進めております。

まず、雇用創造協議会の活動に関してでございます。ホームページで事業の募集案内や活動報告、地元事業者や新商品などの情報を掲載しております。昨年10月にサイトリニューアルをいたしました。また、日々の活動報告等については、フェイスブックで情報発信をしております。

次に、観光スポット、イベント情報、グルメ情報などを、水俣・芦北観光応援者というアカ

ウント名で、インスタグラム・フェイスブック・ツイッターで発信しております。基本的には同じ情報を掲載しておりますので、お手持ちのアプリでご覧いただければと思います。

3つ目は、芦北地域振興局としての活動に関する情報発信でございます。地域振興局が行っている取組みやイベント、地域住民にお知らせすべき情報などについて、平日は毎日情報発信をしているところでございます。このようにいろいろなツールを使いまして情報発信をしておりますので、お時間がある時にご確認いただければと思います。よろしくお願いいたします。

それとその他事項の2点目といたしまして、次回の総会の開催時期についてのご相談でございます。例年3月下旬に総会を開催しているところでございます。今年も例年同様、来年の3月下旬に開催するということをお願いしたいと考えております。以上でございます。

【会長】

ただ今の事務局からの提案について、御意見・御質問等ありませんでしょうか。

では、次回総会は来年3月に開催するということで調整させていただきます。よろしくお願いいたします。

すべての議事は終了しましたが、最後に皆様から何かご意見等ございませんでしょうか

御協力ありがとうございました。これをもちまして「第25回水俣・芦北地域雇用創造協議会総会」を終了いたします。

ありがとうございました。

(以上)


この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人において次に署名押印する。

令和3年(2021年)8月4日

議長

江藤 公俊 

議事録署名人

野崎 武寿 

議事録署名人

福田 豊樹 